



ロンドン五輪 200m 平泳ぎの金メダリスト・ジョルジア。世界新を出した山口との戦いが見られるか？

ロンドン五輪では納得の速さができなかったロクテ。その強さを再び見せつけることができるか？

ロンドンでは圧倒的な強さを見せつけたフランクリン。寺川がどこまで迫れるか期待が高まる。

Barcelona

THE 15th FINA WORLD CHAMPIONSHIPS 2013 in

バルセロナ世界水泳選手権2013

4年に一度の祭典は終わったものの、すでに選手たちは次の戦いの準備を始めている。全40種目と最大規模の第15回世界水泳選手権が、スペイン・バルセロナの地で行われる。日本人選手、海外選手の動向を合わせて、大会の見どころを探る。

スペイン・バルセロナ 2013年7月19日～8月4日(競泳競技は7月28日～8月4日に実施) 文:スポーツライター・田坂玄暁

日本勢はロンドンの強さをバルセロナでも発揮できるか？

過去最高数となる、銀3、銅8の計11個のメダルを獲得したロンドン五輪での活躍に沸いた、日本競泳陣。リレーを含む11人のメダリストは全員現役続行を表明し、バルセロナ世界水泳選手権でのメダル獲得にも期待が分かる。

今回会場となるバルセロナのバラウ・サン・ジョルティは、2003年世界水泳選手権の舞台でもあった。この大会で、北島康介が100m、200m 平泳ぎを世界記録で制覇し、200m バタフライでは山本貴司、中西悠子がメダルを獲得。男子4×100m メドレーリレーで銅メダルも獲得し、翌年のアテネ五輪でのメダルラッシュに繋

がった。さらに9つもの世界記録(当時)が誕生おり、泳ぎやすさにも定評のあるプール。未だに高速水着時代の世界記録が31も残っているが、ロンドン五輪では7つが更新され、世界は確実にテクニクで高速水着時代を上回ろうとしている。このスペインの高速プールで、どれだけの世界記録が更新されるのか、そこに日本人選手がどこまで食い込めるかに注目が集まる。

また、非五輪種目であるバタフライ、背泳ぎ、平泳ぎの50m、自由形男子の800m、女子の1500mと、普段はなかなか見られない種目において、世界レベルの争いを目の当たりにできるのも見どころのひとつ。さらに、男女混合のリレー(4×100m リレー、4×100m メドレーリレー)が行われる可能性もある。一体どんなレースになるのか、予測できない戦いも楽しみだ。



Barcelona

戦いの展望

19th July-04th August 2013

五輪後の世界選手権は次世代選手の試金石

ロンドン五輪で行われた世界規模の世代交代。台頭し始めた若い選手たちが、ロンドン五輪での結果がフロックではないことを証明するの、この世界水泳選手権だ。ゆえに、記録のレベルも高くなりやすく、見応え充分の大会になるだろう。

日本勢としては、個人種目のロンドン五輪メダリストに世界選手権出場内定が与えられている(日本選手権出場が条件)。そのため、7月まで余裕を持って準備できるので、記録に期待が持てる。17歳のロンドン五輪金メダリストのメリッサ・フランクリン(アメリカ)を追いかわせる寺川綾は、2月の日本選手権(25m)で自己ベスト

を更新して好調を維持。「メダリストのプライドが出てきた」と平井伯昌コーチが話すように、どんな状態でも最低限の記録と結果を残すようになった。このメンタルの安定感に加えて、7月までのトレーニング次第ではフランクリンとの勝負が面白くなる。

反対に、不安が残るのが平井コーチの下で再スタートを切った、松田丈志だ。始動が遅かったのに加え、環境が大きく変化し、まだ自分のベースをつかめきれていないようだ。南アフリカの20歳の若き、チャド・レクロウと戦うには、いかに自分の実力を発揮できるよう調整できるかがかかっている。

表舞台には姿を見せないものの、入江陵介、鈴木聡美も順調にトレーニングを積んでいる。

目標としていたライアン・ロクテ(アメリカ)を抑えながらも、同

国の新鋭タイラー・クラリーに敗北を喫した入江は、また同じメンバーで戦うことが予想される。どうすればアメリカ勢に勝てるのか。その答えを日本のエースとしてしっかりと日本選手権で見せ、世界選手権に繋げてもらいたい。ロンドン五輪で一気に世界のトップの仲間入りを果たした鈴木の実力は、15歳のルーサー・メイルティティ（トニア）と、レベッカ・ソニ（アメリカ）。特に潜在能力が未知数のメイルティティは、鈴木にとって驚異的存在になるだろう。鈴木の実力である後半の粘りがさらに強化されていけば、五輪よりも良い勝負ができるはずだ。

また、昨年9月の国民体育大会で200m平泳ぎ2分07秒01の世界記録を樹立した山口親弘と、競泳ワールドカップ東京大会、世界短水路選手権で、短水路ながら日本記録を連発した瀬戸大也を忘れてはいけない。山口は、記録のうえでは金メダリストのダニエル・キユルタ（ハンガリー）を上回るが、勝負となれば別だ。この春から師事している半井コーチは「周りの状況も環境も変わり、少しライバルが、ようやく落ちてきた」と、山口の状況を冷静に分析する。山口が持つ実力をいかんなく発揮できれば、直接対決でも良い勝負が期待できる。また、個人メドレーの瀬戸が代表権を射止めれば、銅メダリストの萩野公介とともに、ロケテ包囲網を敷くことになる。日本人2人が世界でトップ争いをする姿をぜひとも見せてほしい。

世界のトップに 新たに名を連ねるのは誰だ?

水の怪物マイケル・フェルプス（アメリカ）が「やりたいことはすべてやった。トップのまま、去ろうと思う」との言葉を残して引退を表明。ひとつの時代が終わりを告げ、世界は群雄割拠の新時代の幕開けとなった。特に女子は、世界のトップが一気に若返る。100m平泳ぎのメイルティティ、100m、200m背泳ぎのフランクリン、400m個人メドレーで驚異的な世界記録を樹立した葉詩文（中国）は、まだ10代。成長過程にある彼女たちは五輪後、どれほどの



ロンドン五輪200mバタフライでフェルプスの3連覇を阻んだシムロー。

実力を蓄えているのか、さらにどこまで記録を伸ばすのかに注目だ。フェルプスが引退する一方でロケテは現役を続行し、昨年12月の世界短水路選手権にも出場した。ロンドン五輪で納得のいく泳ぎができなかったことが、モチベーションに繋がっているのだろう。

2年前の上海世界水泳選手権をきっかけに、ロンドン五輪でさらに加速した世界の勢力図の変化。アメリカ、オーストラリアの2大勢力のうち、オーストラリアが不振にあえぎ、個人種目での金メダルがゼロ。その代わりに台頭してきたのが、ヨーロッパ勢、そして南アフリカだ。100m平泳ぎのキャメロン・ファンデルバーク（南アフリカ）は上海世界水泳選手権で北島を倒してから勢いに乗り、世界記録も更新して一気に王座に君臨した。シムローも、怪物超えの最後のチャンスをものこした精神的な強さを持つ。

世界的に見て、五輪後に長期休養を取る選手が多いため、若手にチャンスが巡ってくるのが五輪の翌年の特徴だ。世界に潜む、新たな若い選手たちが虎視眈々とトップを狙う。そのため、番狂わせも数多く見られることだろう。予測できないからこそ、面白い。情熱の国スペインの地で、世界の強豪と新鋭を相手に、日本人選手がどこまで戦うことができるのか、そして新しい選手がどれくらい出てくるのか。リオデジャネイロ五輪への第一歩となる今回のバルセロナ世界水泳選手権が、今から待ち遠しい。

競泳世界ランキング (2012年)

ロンドンでは多くのメダルを獲得した競泳ニッポンだが、記録の世界ではどのポジションに位置しているのだろうか。世界選手権での活躍を推し量るうえでも、ぜひ記録上の世界ランキングもチェックしよう。

(括弧は、各種目で日本人選手がトップ10に入っているもののみ掲載) ※記録は長水路の記録

種別	性別	距離	選手	記録	順位	種別	性別	距離	選手	記録	順位
自由形	男子	200m自由形	松田丈志	1:45.96	2位	平泳ぎ	男子	200m平泳ぎ	山口親弘	2:07.01	1位(世界新・日本新)
	女子	50m背泳ぎ	寺川 綾	27.71	2位(日本新)		男子	400m平泳ぎ	北島康介	2:08.00	4位
	女子	100m背泳ぎ	寺川 綾	58.83	3位(日本新)		女子	50mバタフライ	加藤ゆか	25.95	8位(日本新)
	男子	100m背泳ぎ	入江陵介	52.91	4位		女子	200mバタフライ	星奈津美	2:04.69	2位(日本新)
	女子	200m背泳ぎ	寺川 綾	2:07.73	7位		男子	200mバタフライ	松田丈志	1:53.21	3位
	男子	200m背泳ぎ	入江陵介	1:53.78	2位		男子	200m個人メドレー	萩野公介	1:57.35	5位
背泳ぎ	男子	200m背泳ぎ	萩野公介	1:55.81	7位	男子	400m個人メドレー	高島 健	1:58.20	10位	
	女子	100m平泳ぎ	鈴木聡美	1:05.46	5位	男子	800m個人メドレー	萩野公介	4:08.94	4位(日本新)	
	女子	200m平泳ぎ	北島康介	58.90	2位(日本新)	男子	1600m個人メドレー	瀬戸大也	4:10.10	6位	
	男子	100m平泳ぎ	山口親弘	59.58	8位	男子	2000m個人メドレー	志村裕也	4:10.52	7位	
	男子	200m平泳ぎ	立石 謙	59.60	9位	女子	400mフリーレー	日本	3:37.96	7位	
	女子	200m平泳ぎ	鈴木聡美	2:20.72	2位(日本タイ記録)	女子	800mフリーレー	日本	7:54.56	8位	
平泳ぎ	男子	400m平泳ぎ	渡部香生子	2:23.56	8位	男子	800mフリーレー	日本	7:11.74	9位	
	女子	200m平泳ぎ	川辺美美子	2:23.83	9位	女子	400mメドレーレー	日本	3:55.73	3位(日本新)	
	男子	400m平泳ぎ	金藤理絵	2:23.83	9位	男子	400mメドレーレー	日本	3:31.26	2位	
	女子	400m平泳ぎ	金藤理絵	2:23.83	9位						
	男子	800m平泳ぎ	金藤理絵	2:23.83	9位						
	女子	800m平泳ぎ	金藤理絵	2:23.83	9位						